

研究集録を活用して、食に関する指導（学級活動）を 実施してみませんか



〈Part 2 学級活動（2）について〉

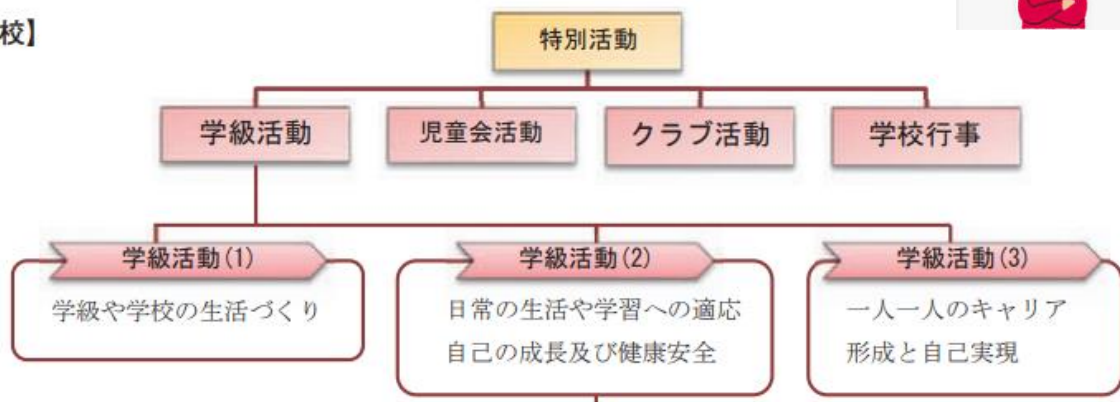
1 学級活動（2）とは

栄養教諭・学校栄養職員が実施した指導案に「第○学年 学級活動（2）指導案」と記載されているものをよく見ます。

では、「学級活動（2）」とは何でしょうか？（2）があるなら、（1）とか（3）とかあるの？と思ったことはありませんか？



【小学校】



（引用：学校給食の手引～改訂版～P202 令和2年3月 福島県学校給食会発行）

小学校における特別活動は、上の図のように「学級活動」「児童会活動」「クラブ活動」「学校行事」に分類されます。さらに学級活動は（1）（2）（3）に分けられています。

学級活動（1）は、学級や学校の生活を充実させたり向上させたりするために学級会を開いて話し合い、決まったことをみんなで協力して実践するものです。例えば、掃除の分担を決めたり、お楽しみ会の進行や各班の出し物を決めたりします。

学級活動（2）は、児童生徒それぞれが関係した課題について話し合っって考えを深めて自分の目標を決め、実践していく内容です。

学級活動（3）は、現在及び将来を見通した生活や学習に関する課題を取り上げて、解決していく内容です。

学級活動（2）に関する内容は

- ア 基本的な生活習慣の形成
- イ よりよい人間関係の形成
- ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
- エ **食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成**

に分けられ、**栄養教諭・学校栄養職員が行う食に関する指導は「エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」に当てはまります。**（授業の内容によっては、「ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成」の場合もあります。）

指導案に書かれている

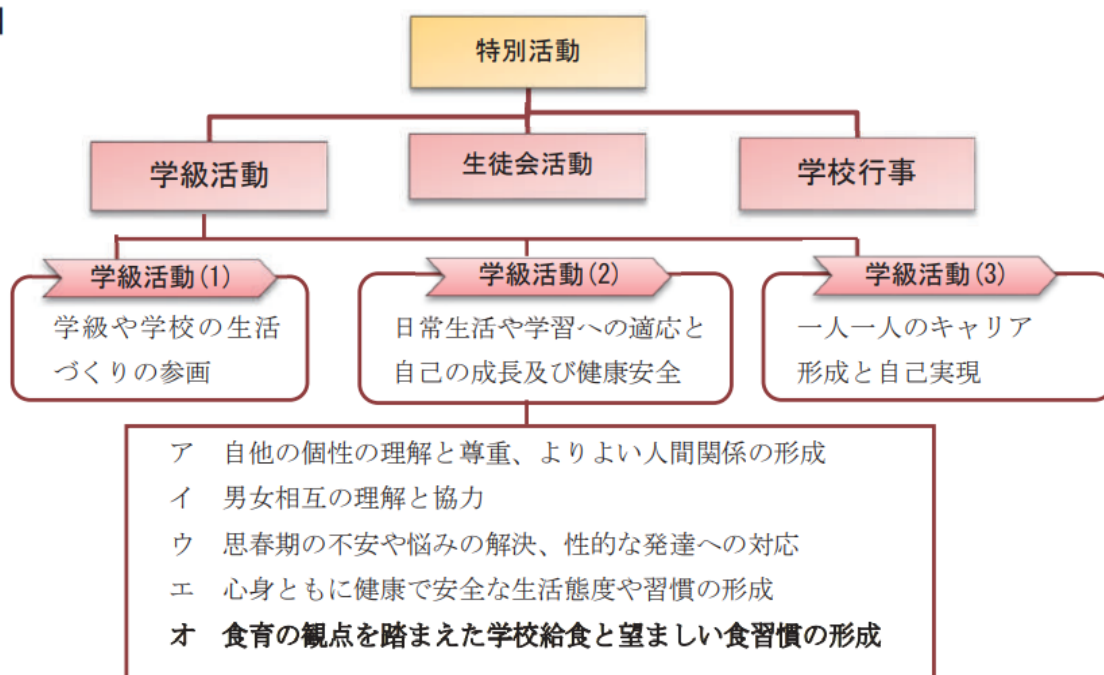
第○学年 学級活動（２）指導案

1 題材 「 ○○○○」
（エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成）

は、

この授業は 特別活動 → 学級活動 → （２） → エ の内容 の授業ですよ。
という意味になります。

【中学校】



(引用：学校給食の手引～改訂版～P202 令和2年3月 福島県学校給食会発行)

中学校における特別活動は、上の図のように「学級活動」「生徒会活動」「学校行事」に分類されます。さらに学級活動は（１）（２）（３）に分けられています。中学校の場合は、「オ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」となりますが、内容については小学校と同じです。

2 学級活動（２）の内容

この（エ）（中学校は（オ））の内容で、

児童生徒に「どのような力を身に付けさせるのか」、そのために栄養教諭・学校栄養職員が「どのような学習指導を行うのか」については、「食に関する指導の手引—第2次改訂版—P158～」に記載されていますので、小学校の中で記載されています。

では、内容について説明を加えながら述べていきます。

この内容は、自分の食生活を見直し、自ら改善して、生涯にわたって望ましい食習慣が形成され、食事を通してよりよい人間関係や社交性が育まれるようにするものである。楽しく食事をする、健康によい食事のとり方、給食時の清潔、食事環境の整備などの改善について身近な事例を通して考え、自己の課題に気づき、具体的な目標を立てて取り組むなどの活動が中心となる。

学級全体の「食」にかかわる課題

- ・食生活についてのアンケート
- ・朝食を見直そう週間運動時の『朝食調べ』
- ・普段の給食の様子 などから

食に関する指導

自己の課題に気づき
目標を立てて改善する

実際に授業の「題材」を決める際には、子どもたち自身が「自分の食の課題に気付く」というよりは、担任の先生が各種調査の結果や日頃の給食の様子などから、「改善が必要だ!」と思った内容で進められることが多くあります。

しかし、その「全体の課題」から「自分の課題」を見つけて改善するために具体的な目標を決めて取り組んでいくことがこの内容です。



この内容において育成を目指す資質・能力については、例えば、望ましい食習慣の形成を図ることの大切さや、食事を通して人間関係をよりよくすることのよさや意義などを理解すること、給食の時間の楽しい食事の在り方や健康によい食事のとり方などについて考え、改善を図って望ましい食習慣を形成するために判断し行動することができるようにすることが考えられる。また、そうした過程を通して、主体的に望ましい食習慣や食生活を実現しようとする態度を養うことなどが考えられる。

「望ましい食習慣の形成を図ることの大切さ」

↓
【食事の重要性】

食事を通して人間関係をよりよくすることのよさ
や意義などを理解する

↓
【社会性】

給食の時間の楽しい食事の在り方や
健康によい食事のとり方

↓
【心身の健康】



育成を目指す資質・能力

これらの資質・能力については、「特別活動の目標」と「食育の視点」を関連付けて育成することが大切です。

「食育の視点」については、「食に関する指導の手引—第2次改訂版—P16～」に資質・能力の三つの柱の例示が記載されていますので、併せてお読みください。



3 栄養教諭・学校栄養職員の関わり方

食に関する指導を学級担任と連携して行うために、全体計画に位置付けておくことが大切です。特別活動の指導計画はもちろん、「食に関する指導の全体計画②」にも記載しておきます。



食に関する指導の全体計画②（小学校）例

教科等		4月	5月	6月	7月
学校行事等		入学式	運動会	クリーン作戦	集団宿泊合宿
推進体制	進行管理		委員会		委員会
	計画策定	計画策定			
学級活動 *食育教材活用		給食がはじまるよ* 【1年】	元気のもと朝ごはん* 【2年】、生活リズムを 調べてみよう*【3 年】、食べ物の栄養* 【5年】	よくかんで食べよう 【4年】、朝食の大切さ を知ろう【6年】	夏休みの健康な生活に ついて考えよう【6年】
特別活動	児童会活動	残菜調べ、片付け点検確認・呼びかけ 目標に対する取組等（5月：身支度チェック、12月：リクエスト献立募集・集計） 掲示（5月：手洗い、11月：おやつに含まれる砂糖、2月：大豆の変身）			
	学校行事	お花見給食、健康診断		給食委員会発表「よく 噛むことの大切さ」 全校集会	
	給食の時間	給食指導	仲良く食べよう 給食のきまりを覚えよう 楽しい給食時間にしよう		楽しく食べよう 食事の環境について考えよう
		食に関する指導	給食を知ろう 食べ物の働きを知ろう 季節の食べ物について知ろう		

食に関する指導では、各学年年に1回程度の授業だと思えば「あれも・これも・・・」と、ついつい「知識の伝達」が中心になりがちですが、学級活動（2）の授業では、

「① 児童生徒の身近な生活課題を自分の問題としてとらえ」



「② 原因や背景などをさぐり」



「③ 話合いを通して解決の方法を自分なりに意思決定していく」 ことが大切です。

栄養教諭・学校栄養職員は、**学級活動の「特質」**を理解し、食に関する高い専門性を生かして食に関わる様々な情報や資料の作成に努め、**「生きた教材」と言われる学校給食を通して**望ましい食生活について学べるような教材を作ったり、授業内容について展開できるようにしたりするなど、私たちの**専門性を十分に発揮すること**が求められます。

今回は小学校の例示で述べましたが、中学校についても「食に関する指導の手引—第2次改訂版—P167～」に記載されていますので、お読みください。

なお、特別活動以外の各教科や教科等で「食に関する指導」を行う際も、それぞれの教科等の「特質」を踏まえ実施してください。